

大和工業

大和工業は、電炉技術を武器に成長してきた中堅鉄鋼メーカーです。スクラップを活用した資源循環モデルと早期からの海外進出により、米国などで現地生産体制を築き、高品質な鋼材供給と安定した収益を実現しています。

大和工業の電炉と国内拠点

大和工業は、電炉を中心とした製造体制を持つ中堅の鉄鋼メーカーです。高炉は保有せず、電気炉を活用して高い材料回収率と省エネ性を両立させています。拠点のある兵庫県姫路市では、形鋼・鋼矢板などを建築や土木向けに供給し、地域インフラを支えています。製造現場では、高効率の電炉設備と厳格な品質管理を組み合わせることで、安定した製品供給を実現しています。鉄スクラップを主原料とする**資源循環モデル**は、再資源化と温室効果ガス排出の抑制の両立に貢献しており、脱炭素社会に向けた重要な取り組みの1つとして注目されています。今後も電炉技術の高度化や自動化を進め、環境負荷を抑えた鉄づくりを追求していきます。

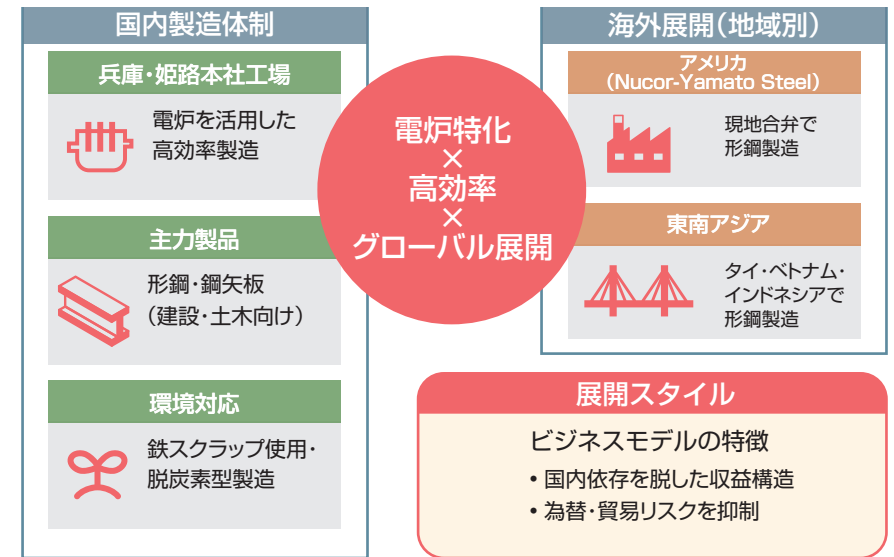
資源循環モデル

都市で発生するビルや車の鉄スクラップを「資源」として回収し、電気炉で溶解して再び鉄鋼製品として社会に還すしくみ。

海外展開とビジネスモデル

大和工業のもう1つの特徴は、海外展開を早期から進めてきた点です。アメリカでは、米国最大手の鉄鋼メーカーNucorとの合弁会社Nucor-Yamato Steelを1987年に設立。現在に至るまで、競争の激しい北米マーケットに於いて形鋼トップクラスのシェアを獲得し、順調に成長を続けております。タイでは、同国におけるトップ企業の1社であるSiam CementとSiam Yamato Steelを設立。現在タイ国最大の形鋼メーカーとして、東南アジアマーケットでの形鋼製品普及に貢献しております。いずれの地域でも、「地産地消」を基本とする体制を採用し、為替変動や貿易摩擦の影響を受けにくい収益構造を築いています。国内市場に依存しない事業ポートフォリオを持つことで、電炉ビジネスの可能性を広げており、機動力を活かした戦略として評価されています。

大和工業のニッチ電炉グローバル戦略



大和工業の主力事業

主力事業	主な内容	特徴・拠点
電炉による製鋼	汎用鋼を中心に製造。電炉製鋼に強み	兵庫県姫路市の電炉工場を中核拠点とし、多品種生産と短納期対応を両立
海外製造拠点	アメリカ、タイ、韓国などで電炉・圧延事業を展開	米国 Nucor-Yamato Steel、タイ Siam Yamato Steel を主要拠点とし、現地密着型の供給体制を構築
建材向け製品	H形鋼、I形鋼、鋼矢板など、建築・土木インフラ向けの形鋼製品を主力	国内外の建設・土木プロジェクト向けに JIS・各国規格に対応した形鋼を供給
輸送・物流インフラ	原材料・製品の効率的な輸送	工場近接の港湾施設があり、内航船を自社保有
環境・資源対応	スクラップリサイクルや脱炭素化の取り組みを重視	スクラップの安定調達網を整備し、二酸化炭素排出原単位の低減目標を設定